

★ R.I.2660 INTERACT・NEWS ★



SCRUM

No.
34

海外研修報告
年次大会報告
クラブ活動報告



報告書

ホストクラブ：浪速中学・高等学校インターアクトクラブ

スポンサークラブ：大阪住吉ロータリークラブ



目 次

* 発刊にあたって.....	1
* 2008～2009 年度 新入生歓迎会報告.....	2
* 2008～2009 年度 海外研修報告.....	7
* 2008～2009 年度 年次大会報告.....	23
* 各インターアクトクラブ活動報告.....	38
清風学園 I. A. C	
大阪桐蔭中学・高等学校 I. A. C	
浪速中学・高等学校 I. A. C	
四天王寺高等学校・中学校 I. A. C	
金光八尾中学・高等学校 I. A. C	
相愛中学・高等学校 I. A. C	
* インターアクトクラブ名簿.....	46
* 編集後記.....	53

<SCRUM No.34> 発刊にあたって

SCRUM には、年間のインターアクト活動状況が報告されております。

今年度は、四天王寺中学・高等学校が担当された生駒・信貴山での新入生歓迎会、相愛学園中学・高等学校が担当されたタイ国への海外研修、そして、金光八尾中学高等学校での年次大会、その他の活動に皆様のご協力をいただき誠にありがとうございました。

国籍は違ってもお互いを理解し、尊重する気持ちを養い、そしていま生きている社会に感謝し、地域において奉仕することで心豊かな人間に成長することが、インターアクトの目的です。

本年度も国内外の活動を通して、インターアクターの皆さんと顧問の先生、ロータリアンが、様々な出会いや研修の中で、共に成長していくことを実感できましたことは、この上ない喜びです。

今後とも、こどもたちが主体になって、夢をかたちにしていく中で、人間として大きく成長され、しっかりと大地を踏みしめ、力強く自身の道を歩んでいかれることを心から願っています。

SCRUM#34 にはインターアクトの活動状況が詳しく報告されておりますのでぜひ一読していただき、活動の参考にしていただければ幸いです。

末尾になりましたが、編集を担当されました浪速中学高等学校はじめ、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

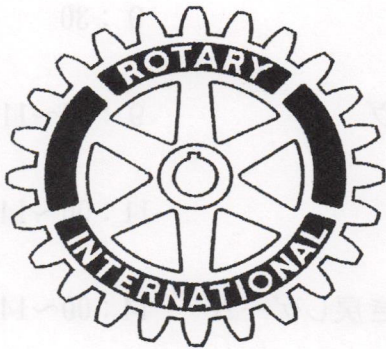
今後ともインターアクトの活動を宜しくお願い申し上げます。

2009年1月31日

国際ロータリー第2660地区
インターアクト委員会
委員長 上野 昌也

2008～2009年度 RI第2660地区

インターアクト新入生歓迎会



For the betterment of the world through sharing

～分かちあう心を大切に～

日 時 平成20年6月1日(日)

場 所 農業公園 信貴山のどか村

ホストクラブ 四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブ

スポンサークラブ 大阪阪南ロータリークラブ

2008年度 インターアクト “新入生歓迎会” のご案内

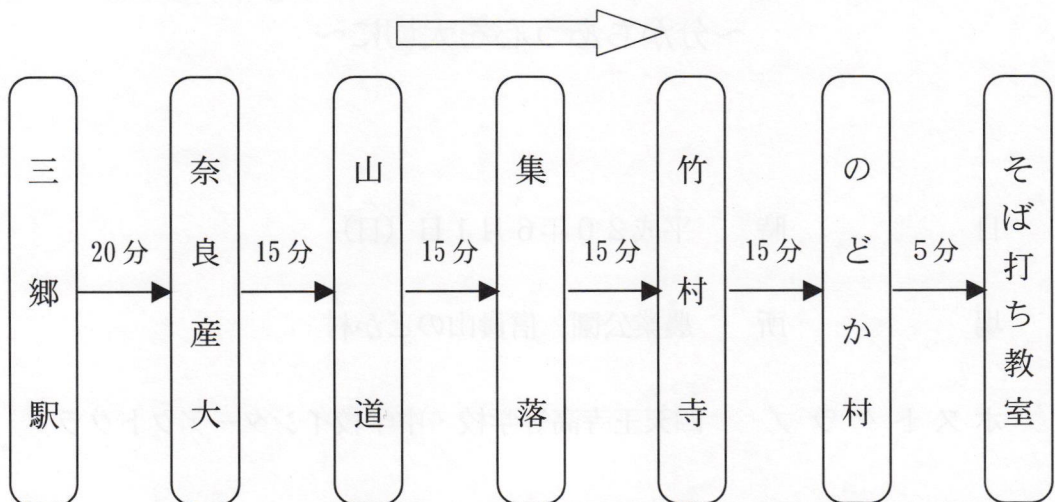
1. 日 時 2008年6月1日(日) 9:30~15:00

2. 場 所 農業公園信貴山 のどか村

奈良県生駒郡三郷町信貴南畑1丁目7-1

TEL 0745-73-8203

3. 活動内容
- 1) 挨拶・諸注意 9:30
 - 2) のどか村へハイキング 9:40~11:00
 - 3) そば打ち体験 交流 11:00~14:00
 - 4) 交流:昔懐かしいふき戻しゲーム 14:00~14:30
 - 5) 閉会挨拶・終了 15:00



ハイキング～ ゴーイング～ クッキング～

新入生歓迎会

●出席者一覧

大阪桐蔭中学校・高等学校			
顧問		仲谷 浩一	A
		亀井 貴洋	B
		奥井 亜輝	C
高2		中川 竹美	F
		植村 美紀	G
		森貞 翔太	H
		下川絵里奈	I
		東野 勇介	J
高1		遠藤有梨紗	K
		鮫島 ゆり	L
中3		原田 崇史	M
中2		小野 陽子	N
		佐藤 衣美	A
		山本 有香	B
		玉井志保里	C
		石橋 侑佳	D
大東RC		森田 晴子	E
		田中 啓之	B
		清水 修	C

相愛高等学校			
大阪RC		上野 昌也	D
		松岡 一郎	E

金光八尾中学・高等学校			
顧問		金崎 桂悟	G
		和田名保子	H
		前田 裕子	I
高2		宮川 直也	G
	○	中尾信之介	H
高1	○	岩本 彩	I
	○	大平 梨絵	J
	○	高山 勝	K
	○	下岡 美香	L
	○	金泥 弘樹	M
中2	○	井村 隆	N
		田中 康正	F
八尾RC		柏木武生宣	G
		稲田 賢二	H
		川田 隆	I

清風学園			
顧問		中村 明夫	J
		高橋 達矢	K
高3		峠口 侑哉	A
		畠中 淳	B
高2		古川 和伸	C
		中村 亮太	D
		野原 祥祐	E
		浦野 貴至	F
		大櫛 統文	G
大阪南RC		廣内 謙	J

浪速中学・高等学校			
顧問		木村 智子	F
高3		阪口 安那	C
高1		木下 晴香	D
中2		菅 唯菜	E
大阪住吉RC		大戸 道彦	F

四天王寺高等学校・中学校			
顧問		岡 宏治	L
		白崎 貢	M
		野口 弘	N
高3		松本 真奈	A
		瀨野 友未	H
		森川 莉江	I
高2		武田 麻希	J
		石井 沙季	K
		横井 友紀	L
		前川 洋子	M
		乃木愛里子	N
		小林 美野	A
		片岡 千枝	B
		村上 愛美	C
		山中 唯	D
		小林奈都子	E
		小林まりや	F
		豊國 恵麻	G
		東 優希	H
		堀 智美	I
	高1	○	澁野 有里
○		栗原 律子	K
中3		潮田 誠美	L
		福井 晴那	M
		岩永 珠季	N
		小西みのり	A
中2		山路 彩夏	C
	○	飯田 有	D
	○	柳川 咲	E
	○	沖津明日香	F
	○	大谷 まり	G
中1	○	朝比奈朋美	H
	○	西澤明日香	I
	○	山田奈津実	J
大阪阪南RC		米田 誠治	K
		口石 宏三	L
		前田 忠蔵	M
		中山 実	N
		乃口 忠勝	A
		野間 吾郎	B
		高木 正夫	C
		谷野 清孝	D
		和田 健	E

ロータリアン 19
 顧問 13
 インターアクター 62
 合計 94

新入生歓迎会

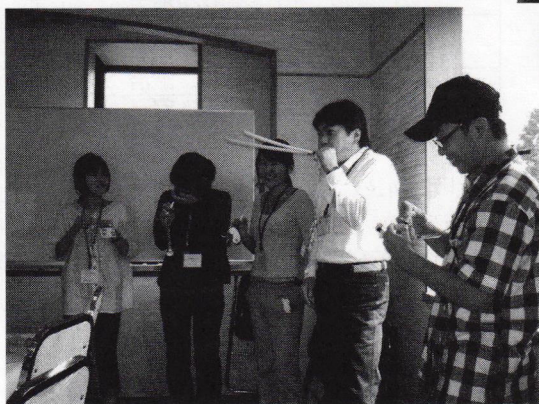
会場 主人様

浪速高等学校一年 木下 晴香

私は今回初めてそば打ち体験に参加しました。私は今年高校に入学したばかりで、インターアクトクラブの体験で行きました。最初のうちは、知らない人ばかりで不安が大きかったのですが、皆優しい方ばかりで声をかけてくれる人もたくさんいました。

そば打ち体験をする場所まで約1時間も山中を歩いてとても疲れました。天気も良いので、本当ならとても暑かったのですが、山の中はとても涼しくて快適でした。

そば打ちは初めてで、なかなかスムーズにはいきませんでした。でも、楽しく皆でそばを打てたので良かったです。山中を1時間も歩いてお腹がすいていたのでとてもおいしく感じました。



新入生歓迎会

四天王寺高等学校 武田 麻希

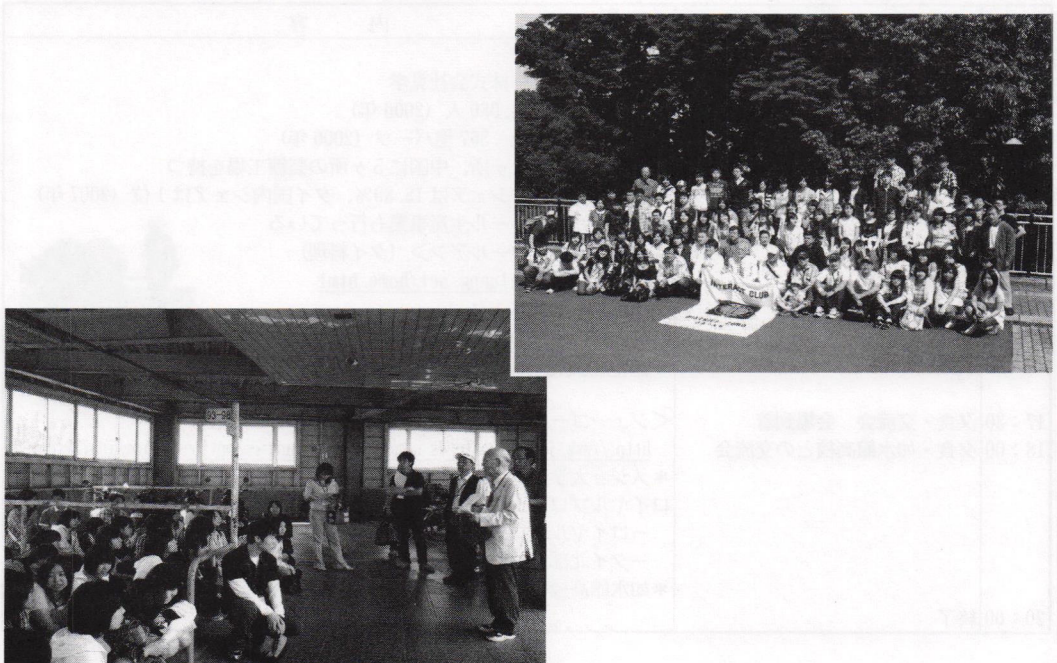
6月1日、信貴山のどか村で新入生歓迎会がありました。今年はいいにく、相愛高等学校が学校行事のため参加できず、5校のインターアクトクラブが集まり、他校の人と交流しました。

私は今年初めて参加したので、開会式で田中委員長のお話を聞きながら、少し緊張していました。その後、ロータリークラブの方々や各学校の先生方、生徒の紹介があり、紹介が終わるとさっそく班ごとに分かれました。初対面の人もいて、緊張もしていたのですが、話をするとすぐに打ち解けることができ、いいお天気の中、わいわいとしゃべりながらハイキングを楽しみました。

1時間半ほど歩いたあと、今度は昼食のそば打ちをしました。みんな初めての経験で、分からないことばかりだったので、協力し合っているうちに、自然ともっと仲良くなれたように思います。自分たちで作ったそばはおいしくて、笑いながら楽しい食事ができました。

食事を終え片付けをした後は、吹き戻しを使ってみんなでゲームをしました。スズランテープで作った輪を班のみんなで順に回していくというゲームで、簡単なように思っていたのですが、やってみると意外に難しかったです。楽しい時間が過ぎるのは早く、最後に集合写真を撮ってお別れとなりました。

短い時間でしたが、みんなと仲良くなることができ、ロータリークラブの方々にも優しく接していただき、とても充実した一日になりました。私がインターアクトクラブに入っていないければ、おそらくできないような経験なので、改めてよかったなあと思いました。



国際ロータリー 第2660地区 インターアクト 海外研修 タイ 5日間



1日目 8月6日(水)

時刻	行程	内容
15:00	関西空港4F国際線出発ロビー 中央団体受付カウンター24/25番	JALカウンター前に集合 →手荷物を預けた後、結団式会場へ移動
15:30	ホテル日航関西空港 白鳥の間	結団式
16:00	ホテル日航関西空港	交流会リハーサル(花笠音頭の練習) →終了後空港へ移動
18:40	関西空港発【JL727】	
22:35	バンコク国際空港着	ホテルへの送迎 (シンタケツアーが到着ロビー回転扉7番前にて出迎え)
23:45	ホテル着	泊: ザ・インペリアル・クイーンズ・パークホテル http://www.imperialhotels.com/queenspark/index.html



2日目 8月7日(木)

時刻	行程	内容
8:00	ホテル発	バスで移動(夕方制服に着替えますので、かならず制服を持っていく...バスの中に置いておく)
9:30	Klong Pittayakorn school 到着	タイ 3330, 3350 地区のロータリアンと一緒にマングローブの植樹
9:45	奉仕活動	Tシャツ・短パン・マリンシューズもしくはクロックスなどのサンダル持参
12:00	学校で昼食	
13:00	タイの小学生との交流	タイの伝統文化に触れる
16:00	Tong Tara ホテルに移動	ホテルで制服に着替える
19:00	BangkorleamRC の例会に参加	タイ IA との交流会・花笠音頭の踊りの披露・メガネプロジェクト メガネの贈呈式 等
21:00	ホテル着	泊: ザ・インペリアル・クイーンズ・パークホテル



3日目 8月8日(金)

時刻	行程	内容
7:00	ホテル発	5:30 起床
9:30	砂糖工場	ミタボンシュガー株式会社見学
11:00	工場発	-従業員数 11,080人(2006年) -グループ売上 367億バーツ(2006年) -タイ国内に5ヶ所、中国に5ヶ所の製糖工場を持つ -砂糖生産量のシェアは18.89%、タイ国内シェアは1位(2007年) -バイオエタノール生産事業も行っている
12:00	昼食	<レストラン カールアン> (タイ料理)
13:00	レストラン発 バッファロービレッジ	http://www.khaluang.net/home.html タイ農村テーマパーク http://buffalovillages.com/en/#
14:30	出発	http://www.newsclip.be/news/2007412_010884.html
17:30	夕食・交流会 会場到着	<ジェーゴ・スクンビット店> (シーフード料理)
18:00	夕食・如水館高校との交流会	http://www.jengor-seafoods.com/index.php?lang=en&option=custom&id=72&sub=65 *メジョ大学アコム教授講演(通訳含め、約20分) ロイヤルプロジェクトの紹介 -ロイヤルプロジェクトとウエノとの関係 -タイ北部山岳民族の子どもたちの生活 *如水館高校のプレゼンテーション(約10分) -タイにおける学生生活
20:00	終了	



4日目 8月9日(土)

時刻	行程	内容
7:30 8:30	ホテル発	塩田見学(海水をくみ上げての塩造りが盛ん) http://plaza.rakuten.co.jp/thaitaro/diary/200603190000/ http://www.hotweb.or.jp/yoshidao/idea344.html
8:30 9:00	椰子砂糖工房 運河クルーズ	天然100%の椰子砂糖製造所見学 専用ボートにて椰子林運河クルーズ タイの田舎の風景を見学→ダムヌアンの水上マーケット着 手漕ぎボートに乗り換えて、水上マーケット散策
11:00 12:30	水上マーケット発 昼食	http://www.bangkoknavi.com/miru/miru.php?id=9 ＜バンコクパレスホテル内レストラン＞(インターナショナルバイキング料理) http://www.bangkoknavi.com/hotel/goods_view.php?goods_seq=15
14:00		エメラルド寺院、王宮見学 http://www.joyphoto.com/japanese/abroad/2001_angkor/bangkok/phraka01.html http://www.joyphoto.com/japanese/abroad/2001_angkor/bangkok/phraka02.html
16:00	ショッピング	＜マーブンクロン ショッピングセンター＞にてみやげ物購入 http://thai.cside.tv/gallery/list.php?catid=siamsquare&pid=1
17:00 18:30 19:30	ホテル着 ホテルチェックアウト 夕食 解団式	荷物まとめ ＜ロイヤルドラゴン レストラン＞(シーフード、タイ、中華料理) http://www.royal-dragon.com/aboutus.htm http://jiyuland.com/data-royal-dragon.html
21:00 21:30 23:55	レストラン発 空港着 バンコク発【JL728】	泊：機内



5日目 8月10日(土)

時刻	行程	内容・目的
7:20	関西空港着	解散



タイ海外研修を振り返って

地区インターアクト委員会 委員長 上野 昌也

2008年8月6日から3泊5日の日程で、担当校：相愛学園高等学校・提唱クラブ：大阪RCにより、国際理解を深めるためタイ 3330・3350 地区 IAC を訪問しました。結団式では横山ガバナー他お見送りの方々からエールを送られ、緊張の面持ちで出発しました。訪問団員は当地区相愛学園、清風、大阪桐蔭、浪速、四天王寺、金光八尾のインターアクター34名、顧問7名・ロータリアン7名、総勢48名（延べ49名）です。

今回の研修はタイの文化及び生活に触れ、互いに理解を深めるというものです。

1日目は3350地区のクライガバナーもお見えになり、インターアクター・ローターアクター、3330・3350地区ロータリアン、現地小学生と一緒に小学校の敷地内にあるマングローブの林で、開発が進み減少しているマングローブの植樹を行いました。タイにおいても資源環境を守ろうという活動が行われています。

夕刻からタイとの交流会を行いました。タイからは3350地区インターアクト委員長ピダ様・カセマチャイパストガバナーをはじめ35名が参加、日本からは花笠音頭を、タイからはタイ舞踊を披露するなど、日タイの交流を深めることができました。更に、WCS活動のプロジェクトの「眼鏡寄贈プロジェクト」にも協力し、日本から1200本の眼鏡フレームを届けました。

2日目にはタイの主要産業を知ることが目的に、ミタボン砂糖工場を訪問しました。往路・復路ともバンコク市内で渋滞にはまってしまいましたが、これもバンコクの生活実態を知るいい機会でした。

夜の交流会では、タイの王室が主導し、チェンマイ県を中心とした山岳民族を貧困から救済しようとして始まったロイヤルプロジェクトの状況についてメジョ大学のアコム教授からレクチャーを受けました。また前日に続きタイのインターアクター20名、さらにはタイで唯一の日本人高校である如水館高校の生徒13名が参加し交流を持ちました。

最後の日には、タイのインターアクター30名と一緒に昨日の製糖工場とは違い伝統的な椰子砂糖工場を見学、次に現地の人が実際に生活のベースとしている水上マーケットを見学しました。

午後は、現地の食品、衣料品を売る店だけではなく、携帯電話やパソコンの店が立ち並び、客もアジア系、西洋系等の観光客とタイ人が混沌とし国際色あふれる巨大ショッピングセンターを訪れました。そして最後に解団式を行い、無事帰路につきました。

今回の研修旅行はこのように、タイの日常文化そして生活にふれ、相互理解するうえで十分に有意義であり、今年度のRIテーマ「夢をかたちに」というスローガンの実現にも役立つものであったと確信しています。その後、タイの政局が混乱しており、市民生活にも大きな影響が出ています。一日も早く正常な状態に戻ることを願うと共に、将来インターアクターの皆さんが再会できる機会に恵まれます事を期待しております。



海外研修 1日目

大阪桐蔭高校2年 東野 勇介

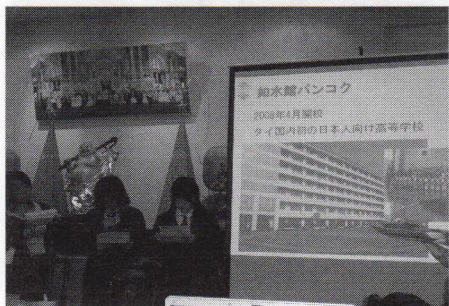
今から1年前には、想像すらできなかつただろう。この自分が、タイに行けるとは。

ありきたりな表現ではあるが、期待も不安も大きかったことは言うまでもない。だが、不安よりも期待の方が少しずつ大きくなっていくのを感じた。

飛行機が出発してから数時間。バンコクの夜景が、眼下に広がった。その後まもなく、我々はずいにタイの地へ降り立った。

空港からはバスでホテルに移動する。さて、明日から本格的に活動開始だ。

今から半年前でも、一瞬たりとも考えたことすらなかつただろう。この自分が、わずかではあるが国際交流に参加するとは。(完)



海外研修 2日目

大阪桐蔭高校2年 中川 竹美

8月6日から10日まで、私達インターアクト部員はタイで研修をしてきました。私はタイへ行くのをとても楽しみにしていました。

飛行機で6時間。タイへ着いたとたん私達は独特の歓迎を受けました。2日目。私たち一行は現地の小学生と植樹の体験等をして交流しました。その日は風が吹いてとても過ごしやすい天気でした。小学生たちは好奇心のあふれた目で私たちを見ていました。私は、英語がうまく伝わらない中、身ぶり手ぶりで言いたいことを伝えました。その後、タイの高校生たちと夕食会をして過ごしました。タイの子たちは皆積極的に話しかけてくれて、色んなことを教えてくれました。夕食後は出し物の交換をして、楽しみました。3日目の砂糖工場の見学や如水館高校との交流。そして最終日の水上マーケット、ショッピングも発見と驚きの連続で、とても楽しかったです。今回の旅では交流がメインとあって、色んな人と接する機会が多く、英語を使うこともたくさんでした。だから私は今までの修学旅行よりずっと、外国へ来たという気がしました。そして、私達は旅を終え、日本へ帰ってきました。

私はこの旅の間に感じたことがあります。まずはタイという国について。タイは王国で、日本のように皇族がいます。そして驚いたのは、街中で国王の写真を見かけ、国民と国王の距離がとても近いということです。そして、この国は今まさに大きなエネルギーで変化し続けていると思いました。街中の喧噪や人々の表情に、この国の躍動を感じました。

でも私が最も印象に残ったのは、旅の途中の人々の親切さです。タイの人も私たち旅行団の人も皆、進んで親切にしてくれるのです。私は旅行中、ずっと多くの人に助けられました。なので、この旅で感じた感謝の心を大切にしていこうと思います。インターアクト部員として、交流だけでなく、他の大切なことも学べたこの旅は、私にとって大きな経験となり、また忘れられない思い出になりました。



海外研修 1・2日目

『未知な体験の連続』

清風高校2年 浦野 貴至

現地の人とちゃんと会話ができるのか。食事はおいしいのか。いろいろな不安と期待が入り交じった気持ちでバンコク国際空港に着きました。到着が遅かったので、この日はホテルに直行。二日目の交流会を楽しみにしながら就寝しました。

翌日、海外での初体験が始まりました。初めてのタイの朝食は、思っていたより美味しく一安心。その後現地の学校へ行き、今回の交流でのメインイベントであるマングローブの植樹に参加しました。現地の小学生のガイドと一緒に沼地に入り込んで、マングローブの苗を植え、地球環境に貢献しようというイベントです。出発前に顧問の先生からは「膝まで浸かるから短パンを用意」という指示を受けていましたが、いざ入ってみると膝どころか腰まで浸かってしまいました。先生は田植えと勘違いされていたのではないのでしょうか(笑)。ガイド役の小学生たちに至っては胸まで浸かる深さで、沼地だけあって足下もヌルヌルして変な感触で、大変な作業でしたが、こんな経験はインターアクトに入ったからこそ貴重なものだと思います。

ガイド役の小学生達は積極的に話しかけてくれたのですが、英語ではなく現地語だったので、正直まるで分かりませんでした。それでもジェスチャーなどで一生懸命に何かを伝えようとしてくれていたのがとても嬉しかったです。

午後の交流会でも、現地の高校生は積極的に話しかけてくれました。タイの高校生達は英語を使えますから、小学生達と違ってもっとスムーズに会話ができるかと思っていましたが、いざ話してみると聞き取りにくいことが多く、私は始め消極的になっていました。それでもタイの高校生達がそんな私たちに積極的に話しかけ続けてくれ、次第に自信を取り戻して話すことが出来ました。

どの体験もこのクラブに入ったからこそできたと思います。貴重な機会を与えてくださったロータリアンの先生方、顧問の先生方、本当にありがとうございました。

海外研修 3・4日目

海外研修について

金光八尾高等学校 宮川 直也

8月8日の午前中はミタボンシュガーという砂糖工場を見学した。この会社はタイの国内シェアが第1位だけあって広がった。砂糖は直射日光を当てたらダメなので青いガラスの中で製造されている。ある建物には右にも左にも砂糖が積まれ、奥の方には砂糖が山のようにになっており、色々なことを教わりました。その後の昼食は、山中にあるダム湖のそばのレストランで食べました。シュリンプや魚のチリソース和え、鳥賊のレモン蒸しなどの料理がでてきました。エビの皮はむきづらかったけど、どれも美味しかったです。

夕食の交流会は如水館高校とタイのインターアクターと過ごしました。メジョ大学アコム教授よりロイヤルプロジェクトの講演がありました。夕食前に食料生産などの話があったのでとてもお腹がすいてきた。食事中、如水館の人たちと意気投合し、タイでの生活を聞かせてもらったりと、とても楽しい夕食会になりました。出てきたトムヤンクンはたぶん日本人用で、本場のはこの3～4倍は辛いと言っていたので、僕には辛すぎて食べられそうにないなと思った。

8月9日は市内の交通渋滞がひどいので、水上マーケットと、ショッピングだけということになった。水上マーケットは舟の上から物を買うものだと思っていたが、舟で大きなマーケットまで行き、たくさんの露天商が並ぶ市場で買い物をした。僕はマンゴジュースを飲んだ。午後のショッピングは現地のインターアクターと一緒に行動していたが、途中でタイの人達と離れてしまった。歩いている内にまた会おうだろうと思いながら、3人で行動していたが、ほとんど誰にも会わなかったのが、ものすごく寂しかった。ショッピングではタイのカレーを買った。もし今後タイを訪問する機会があれば王宮に行きたいと思う。

夕食はタイ料理や中華料理が出てきて美味しかったです。正面にあったステージで、演奏や演劇みたいなのを楽しみました。特にロープを使って、空飛ぶウェイターがステージの前を通り過ぎた時はかっこよかった。レストランでの解団式の後、空港に向かった。

タイの空港はとても広くて何度か迷ってしまい、同じ所を行ったり来たりした。慣れてくると以外と早く買い物を終えられたので、タイで仲良くなった友達と喫茶店のようなところで飲み物を飲んで時間を潰した。

来年は3年生なので、海外研修に参加できないと思うと、少し残念です。しかし、今回はとても貴重な経験ができて本当に良かったです。

最後に、連れて行ってもらった先生方やロータリアンの方々にお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

海外研修 4・5日目

四天王寺高等学校 山中 唯

8月9日、4日目、現地最終日です。

まず「椰子砂糖工房」という、タイで1位のシェアを持つ100%天然椰子を使った砂糖の製造工場を見学しました。工場内の移動には車が必要という大変広い工場です。その砂糖を使って作られたお菓子をいただきながら、常に努力を重ね、より良い品質の製品を作るよう改良を重ねておられるとのお話を伺いました。

次に、ダムヌアンにある水上マーケットに行きました。とても活気のあるところです。マーケットでは見たこともない果物も売られていて、現地の人と直接、英語やつたないタイ語で値段交渉して買い物をしました。どんなときもタイ語でサワディーカ（こんにちは）とコックンカ（ありがとう）と話すととても喜ばれました。椰子の実はそのままストローをさして果汁を飲みます。ライチ・マンゴー・ドリアンに梅干しのような味の果物もあり、南国の味を満喫できました。現地のインターアクターは、皮のむき方が分からない果物をむいてくれるなど、皆とても優しい心遣いをしてくれました。

ホテルに戻り、荷物をまとめチェックアウト。ついにタイでの最後の食事です。ここロイヤルドラゴンレストランは、世界で1番大きなレストランだそうです。タイの民族舞踊を見ながらの夕食です。ピンク・黄色・黄緑・水色ととても華やかな民族衣装でした。たいまつを持って空中を飛ぶパフォーマンスもありました。ウェイターはテーブルからテーブルヘローラースケートで移動していました。

23時55分バンコク発、翌朝7時30分解散。

今回の研修は、朝早くから夜遅くまで活動させていただき、タイのローターアクター、インターアクターとも深い絆ができたように思います。日本に帰った今も、メールや写真の交換をしています。タイのインターアクトの活動内容や今流行していること、文化について話しています。タイの口語も教えてもらい、私も漢字を書いてあげたりします。また会いたいと話しています。

このような機会をつくっていただきました、ロータリークラブの方々、先生方、両親にも感謝しております。ありがとうございました。

海外研修 4・5日目

相愛高等学校 IAC 桑原 里枝

8月9日水上マーケットに行きました。水上マーケットでは、タイの民芸品など購入しました。人生初「ドリアン」も食べました。とても臭いがきつく、一口しか食べることができなかつたです。昼食はバンコクパレスホテル内レストランでインターナショナルバイキング料理をいただきました。おすしやおそばがあり、少し嬉しくなりました。そして、車の渋滞により、予定より時間が遅くなったので楽しみにしていたエメラルド寺院、王宮見学はなくなってしまいました。次のマーブンクロンショッピングセンターでたくさんおみやげを買うことができたのでよかったです。このショッピングセンターはとても広く、映画館なども入っておりとても楽しかったです。ここでずっと一緒にいたタイのインターアクターとのお別れはとても寂しかったです。私達はホテルに戻り、日本に帰る準備をして、3日間お世話になったホテルを出発しました。夕食にロイヤルドラゴンレストランで最後のタイ料理をいただきました。食事中は目の前ですごいショーをしてくれて、楽しく食事することができました。そのまま別室で解団式を行ない、空港に向かいました。すると、さきほどお別れしたはずのインターアクターがお見送りをしに来てくれました。もう一度お別れをするのは辛かったけど、わざわざ来てくれてとても嬉しかったです。

このタイ海外研修は、普段日本では経験できないことをたくさんさせていただき、文化の違いに触れ、大きく自分を成長させていただくことができました。このような機会をあたえて下さったロータリークラブの方々、この研修に関わって下さった皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。

初のタイの研修に選ばれた時は本当に嬉しくて家族も喜んでくれました。けれど、タイ出発の当日となると、全然テンションが上がらず、帰りたい気持ちだけでした。なぜかという、来年は僕らが代表になって来年一緒に行く生徒たちを引っぱらないといけないと聞いたからです。タイ行き飛行機の中もずっとテンションが上がりませんでした。けれど、タイに着いた時は、ものすごくタイ国に圧倒されて、帰りたいという気持ちなんか忘れていました。タイの空港に入った瞬間、独特なおいが漂ってきて、タイに来たんだなと感じました。

タイの海外研修3日目は、朝から砂糖工場へ見学に行きました。朝早くからだだったので、ホテルから砂糖工場へ向かうバスの中ではずっと寝ていました。先輩達におこされて結局ねむれませんでした。砂糖工場に着いて、まず砂糖生産量や売上げがどれくらいなのかを教えてくださいながら工場を見学しました。倉庫の中には、山のように積もった砂糖がありました。僕は、それを見てすぐに一口なめたくなくて、なめるとものすごく辛く感じました。甘い砂糖が辛いはずがないのに、確かにそう感じました。

砂糖工場を出発して、昼食を食べました。どの日も感じた事なのですが、タイ食は本当に独特なおいや味なので、あまり僕の口には合いませんでした。一口目はおいしいけれど、あきる味ですね。テナガエビは口にも入れられませんでした。

時間が詰っていたので、テーマパークには行けず、そのまま如水館高校の子達と夕食を一緒に食べて交流しました。お互い初めて会ったのに、向こうから積極的に話しかけてくれてすぐ仲よくなれました。日本語もペラペラですごく楽しかったです。一番びっくりした事は、タイ人が電話に出る時に「もしもし」とはっきり言った事です。あの時は、本当にびっくりしました。夕食後、タイ人に花笠音頭を披露しました。始めは、本当に恥ずかしくて絶対やりたくなかったけど、タイ人の前でやるとすごく楽しくやりきる事ができました。花笠音頭の後、タイ人とお土産交換しました。タイ人の中でもものすごく人気のあったREIFという子からノートブックをもらいました。今回、REIFとの出会いは僕の中ですごく大きかったです。最後にタイ人らと写真を撮りました。1日目の空港の時は、本当にテンションが上らなかったけど、2日目のタイの人との交流会から本当に来て良かったなと改めて思いました。タイ人の笑顔は、日本人の笑顔よりも新鮮で見えて幸せをもらえます。

5日間本当に楽しくて、タイの研修に選ばれて本当に先生方に感謝しています。来年も、浪速生代表で行きたいと思えるようになりました。今回の経験を生かし、次も頑張りたいです。人生で、最高の思い出が作れて良かったです。最後に今回タイに連れて行ってくださったロータリークラブの方々本当にすばらしい体験をさせて下さってありがとうございました。

全体を通して

浪速中学・高等学校 山中 裕介

3泊5日の海外研修に参加する6つの高校の生徒、顧問の先生方とロータリーの先生方が関西国際空港に集まりました。

初日は、結団式を行い、そして、タイへ出発しました。到着した時にはもう夜中の12時でした。そして、バスでホテルへ移動しました。タイは、アメリカンスタイルで夜なのに明るく、派手な看板が目立ちました。

2日目、タイの小学校を訪れ、マングローブの植樹を体験したり、タイのIAとの交流会がありました。訪れた小学校の生徒はとても明るく、積極的で、一緒にマングローブの植樹もして、とても楽しかったです。

タイのIAとの交流会では、一緒に夕食を食べました。初めて食べるタイ料理の味に少し抵抗があったけどおいしくいただきました。タイのIAの会話の基本は英語で、実用したのが初めてだったけどコミュニケーションをとることができました。その後、花笠音頭を披露しましたが、2日目は初めてのことが多く非常に良い経験をしました。

3日目は砂糖工場へ見学と、如水館高校との交流会がありました。砂糖工場へ向かうのに、片道で3時間ととても長い道のりでした。工場に着いて、説明を聞いて、見学をしました。砂糖の大きな山があり、とてもびっくりしました。

如水館高校との交流会では、初めに、アコム教授の講演を聞きました。その後、夕食を食べました。シーフード料理がメインだったので、非常に食べやすく、タイ料理の味にも慣れました。如水館高校の人たちは日本人だと知らなくて驚きました。そして、お土産を渡してホテルに戻り3日目は終わりました。この頃には日本のIAとも仲良くなれました。

4日目は、水上マーケットを体験したり、ショッピング、解団式がありました。水上マーケットは、ボートに乗って移動しました。タイのIAと共に乗ったので、そこで話をしたりしました。そして到着した場所でお土産を買ったりしました。タイの買い物の基本は交渉なのでタイのIAの人たちが、交渉してくれて、安く、そしてたくさん買うことができました。

ショッピングは、6階くらいある建物だったので、2時間じゃ物足りないくらいでした。日本と置いている物が似ていたのに、値段は安くて驚きました。ここでもタイの子たちが交渉してくれたので、両手いっぱい買うことができました。時間がきて、タイのIAとの別れの時がきました。お土産をくれたり、一緒に写真を撮ったりしました。3日間交流をして、言葉が通じないのに、こんなに仲良くなれると思っていたので別れるのが本当に辛かったです。

そしてホテルに戻り、チェックアウトをして、夕食をとるレストランへ移動しました。

このレストランでは、パフォーマンスがたくさんあり、食べるより見ていました。その後、解団式を行い、空港へ向かいました。

空港では、タイのIAの何人かが見送りに来てくれていて、タイを離れるのが辛くて、泣いてしまいそうでした。そして、飛行機に乗り、タイを離れました。

今回の研修で、たくさんのことを学び、国を超えた絆も得ることができ、たくさん経験することができました。この学んだことや経験を色々な場所でいかしていき、次のインターアクトクラブに入ってくる人たちに教えてあげたいと思います。

タイにはもう一度行きたいと強く思っています。そして、タイのIAの人たちには次に日本に遊びに来てほしいです。

最後になりましたが、今回のこのような貴重な海外研修に参加させていただいて本当に感謝しています。ロータリークラブ委員長の上野先生をはじめ、各学校の顧問の先生方、そしてロータリーの先生方、本当にありがとうございました。来年は浪速高校が実施担当校なので頑張りたいと思っています。

全体を通して

相愛中学・高等学校インターアクトクラブ会長 竹村 明子

国際ロータリー第2660地区08-09年度インターアクトの8月6日から8月10日までの3泊5日、タイ海外研修について報告させていただきます。

8月6日、私たちは幹事校ということもあり、期待と不安を胸に関西空港に集合しました。

2006地区インターアクト委員長、上野昌也様^{まさや}を団長として、大阪ロータリークラブインターアクト委員長、松岡一郎様、大阪ロータリークラブインターアクト委員、矢澤英実様^{ひでみ}、石原昌二様^{しょうじ}、そして今回はドクターとして参加して下さった小浦芳生先生^{おうらよしお}、大阪ロータリークラブ幹事津江明宏様^{つえあきひろ}、ガバナー事務局、栗正久美様、相愛、清風、金光八尾、大阪桐蔭、浪速、四天王寺の各学校の顧問7名、生徒34名、計48名が結団式を行い、タイに出発しました。バンコク国際空港には夜おそく到着したのですがタイのロータリアンの人々がお出迎えをしてくれました。

2日目タイのキングピタヤコン小学校に行きました。

その生徒はみんな手をそろえてあいさつしてくれました。

小学校の子たちとは英語で話したのは名前ぐらいでした。

でも、とてもコミュニケーションがとれたと思いました。言葉が通じなくても、顔の表情やジェスチャーで仲良くなれるんだなと思いました。タイの小学生や幼稚園の子たちは本当にかわいかったです。

タイ3330・3350地区のロータリアンと一緒にマングローブの植樹をしました。大変な作業でしたが、とても楽しかったです。

そのあとホテルに移動し、バンコクのロータリークラブの例会に参加して、メガネプロジェクトのメガネの贈呈式などを行い、タイのインターアクトとの交流会をしました。タイのおどりや歌を披露してくれました。私たちも花笠音頭躍りを披露しました。

3日目、ミタポンシュガー株式会社の砂糖工場を見学しに行きました。山のように砂糖が積みかさなっていたりして、ものすごく多い量で、そこではおどろいてばかりでした。

その夜、如水館高校との交流会では、海外で勉強する日本の高校生たちと交流ができ、またメジョ大学アコム教授のロイヤルプロジェクトの講演も聞くことができました。

4日目は水上マーケットを見学しました。午後からはタイのインターアクトと一緒にマーケットクロンショッピングセンターでおみやげを買いました。同じ高校生なのに、みんなすごく英語が話せて、圧倒されました。ほんとにテンションが高くて積極的に話しかけてくれました。最初は何をしゃべっているか分からなかったけど、だんだん理解できるようになり、初めて英語が話せるようになりたいと思いました。タイの高校生は勉強熱心でいろいろな日本語を覚えていました。本当にみんな親切で優しく少しの間でしたが仲良くなれてとても楽しかったです。

今回の海外研修は本当に意義深いものとなりました。タイの方々とすばらしい国際交流ができ、インターアクトクラブの目的の一つである国際理解の第一歩をふみ出したような気がしました。

今回この経験を今後の学生生活にいかしていきたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な機会をあたえてくださり、最初から最後までご支援、ご尽力^{じん}いただいた 2660 地区インターアクト委員長上野昌也様をはじめ、ガバナー事務局、JALセールスの方々、また、現地でお世話になりました上野製菓の社員のみな様、現地で合流して下さりお世話になりました大阪ロータリークラブの樋口信治様、そして 2660 地区ロータリークラブのみな様に感謝申し上げます。

タイ海外研修を終えて

相愛中学・高等学校インターアクトクラブ顧問 河野 定幸

本校が始めて幹事校として迎えた2008年度海外研修が、8月6日から10日の日程で行われた。地区インターアクト委員長の上野昌也様を団長とし、ロータリアン5名、インターアクター34名、顧問7名、ガバナー事務局より1名の総勢48名が関西空港に集合し、ロータリアンの方や保護者の方々に見送られながら、大阪を離れた。

そして、タイに到着。到着時間が遅かったにもかかわらず、多くの方々に歓迎をして頂いた。そして、バスに乗り込みホテルへ向かうことになったのだが、夜中にもかかわらずバスが動かない。コーディネーターに聞くと、王族の方を優先するらしく、すべてストップがかかるとのことで、しばしば見られるということであり、少しの時間待っていると、無事動き出すことができた。このようなこともあり、初日のホテル到着時間は現地時間で12時をすぎ、時差もありとても長い1日となった。

2日目は、現地3330、3350地区のインターアクター達との交流の日であった。Klong Pittayakorn schoolにて合流し、午前はマングローブの植樹、午後は染め物の体験などを行った。そして夜は、現地ロータリークラブの例会に参加させて頂き、お互いの出し物を発表し交流を行った。

3日目は、朝7時出発にもかかわらず誰も遅れることなく集合し、ミタボンシュガーの砂糖工場を訪問した。この会社はタイ国内シェア1位を誇る会社であり、訪れた工場はまわり一面のさとうきび畑の中にあり、工場内には山のように積まれた砂糖がある光景は圧巻だった。また夜は、如水館高校やタイのインターアクターとの交流を行った。

4日目は、塩田の車窓見学、ボートでの運河クルーズや水上マーケットでの買い物、そして繁華街に移り、土産物の交流を行い、この日の夜にタイを後にした。

この研修に参加させて頂き感じたことは、現地のインターアクターや訪問した小学校の生徒達の明るい笑顔である。訪問した小学校は、バンコクのホテルから2時間ほどバスで移動した場所にもかかわらず、道路は舗装されてなく、周りも建物が多くない農村地帯であり、都市部と他の地域の格差を実感した。またそこでは、マングローブの植樹のため大人でさえ腰までつかる川に入るのだが、現地の子達はとても明るく出迎えてくれ、苦しい顔も全くせず楽しそうに我々を導いて作業を行っていた。また、授業を行っていた小さな生徒達も、急に現れた日本のインターアクター達とおいかけて遊ぶなど、とても楽しそうに見えた。人の笑顔や楽しさというものは、物資の豊富さなどと無縁であるということも、改めて感じさせて頂いた。

最後になりましたが、初めての海外研修幹事校ということもあり、不手際も多々あったことと思います。上野委員長をはじめ、ロータリークラブの先生方、タイ3330、3350地区のロータリークラブの方々、各校インターアクトクラブ顧問の先生方、現地でお世話を頂いた上野製菓の方々に深く感謝申し上げます。

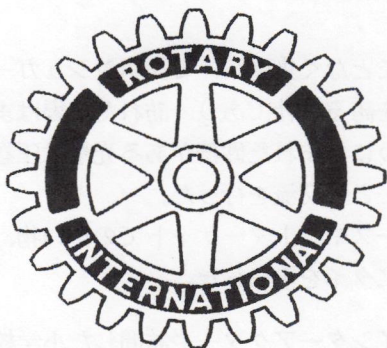
2008～2009 年度
国際ロータリー 第 2660 地区

インターアクト年次大会

“できることから始めよう”
～ Clean the stream ～

日 時 2008 年 9 月 28 日 (日) 9 : 45 A.M. 開会

会 場 金光八尾中学校・高等学校 新館ホール



ホストクラブ

金光八尾インターアクトクラブ

スポンサークラブ

八尾ロータリークラブ

2008～2009年度 国際ロータリー第2660地区 インターアクト年次大会 プログラム

- 9:00 受付・登録開始（金光八尾中学校・高等学校新館ホール前受付）
- 9:45 【開会式】
 点鐘・開会宣言 司会 金光八尾 I A C 野島 由紀
 国歌、インターアクトの歌斉唱 金光八尾 I A C 会長兼地区代表 藤井 智也
 開会のことば 地区インターアクト委員長 上野 昌也
 歓迎のことば 八尾ロータリークラブ会長 今川 憲治
 金光八尾中学校・高等学校 校長 本荘 忠彦
 来賓・参加クラブ紹介 八尾ロータリークラブインターアクト担当 稲田 賢二
 来賓挨拶 国際ロータリー2660 地区ガバナー 横山 守雄
- 10:30 活動報告
 ・各校活動報告
 ・2008 年度海外研修報告（ビデオ上映）
- 11:20 休憩
- 11:30 記念講演「水の流れを追って ～玉串川とコップ一杯の水から見えてくること～」
 講師 環境保全団体 アクアフレンズ 代表世話人 美濃原弥恵
- 12:30 昼食・海外研修の写真交換会（食堂）
- 13:30 玉串川に生息する生き物の見学および説明（理科室）
 水質調査活動 指導 金光八尾高等学校教諭 金崎 桂悟 他
- 14:00 玉串川の川底の清掃
 放流事業
- 15:30 閉会式
 司会 金光八尾 I A C 野島 由紀
 ・講評 地区青少年奉仕担当顧問・パスト・ガバナー 井上 暎夫
 ・次年度幹事校への引き継ぎ（金光八尾から清風学園へ）
 ・点鐘・閉会宣言 金光八尾 I A C 会長兼地区代表 藤井 智也
- 16:00 解散・後片づけ

ターゲット

“できることから始めよう” ～Clean the stream～

人類にとって『水』はかけがえのないものです。

水を取り巻く環境を守ることは、私たちに与えられた使命ともいえるでしょう。

しかし、一個人に水を含めた環境を保護していくなんで、途方もないことができるものではありません。かといって、全てを他人任せにしている水を取り巻く環境は悪くなるばかりです。

そこで、今回の年次大会では「できることから始めよう」をテーマに、私たちの身の周りにある、『水』に注目したいと考えました。幸にも金光八尾中学校・高等学校の前には玉串川という、農業用水として地域の人々の生活に密着し、かつ歴史のある小川が流れています。そして、この川には約20種を超す魚達が生息しています。玉串川の水質を今以上に良くしていくことは、私たち学生の力では難しいことです。そこで、この玉串川をはじめ、まず『水』というものに少しでも多くの方に興味を持ってもらうことが私たちができる最初の一步だと考えました。

ということで、玉串川に生息している魚達に触れてもらうのと同時に、水質に関しても興味を持ってもらうために、水質検査を行っていただき、同じように透明に見える水でも、生活排水などが混入すると、魚が生息できないような水になることを知ってもらいたいと思います。

「生命の源」である水に対して、自己の繁栄のために「汚染」という環境破壊をしてきた私たちは、これを機会に「生命の源・水」を見直す時期にきたのではないのでしょうか。そして、それを知ることが私たちが「できること」なのです。

★記念講演

演題 「水の流れを追って～玉串川とコップ一杯の水から見えてくること～」

講師 美濃原 弥恵

プロフィール

- ・アクアフレンズ 代表世話人 (1996年～)
- ・環境カウンセラー (1999年～)
- ・参加型環境教育研究会 (PEESG) メンバー (2004年～)

環境学習支援や河川調査、生活排水対策啓発活動など、水環境全般にわたる啓発活動をしています。上流と下流の住民交流や市民、行政、専門家、企業と共に様々な河川流域をつなぐネットワークづくりを進めています。

インターアクトクラブ年次大会

地区 I A 委員委員長 上野 昌也

皆さん、おはようございます。

本日は、インターアクトクラブ年次大会に、2660 地区横山守雄ガバナー、井上暎夫パストガバナーもお迎えし、このように盛大に開催させて頂きます事を心から感謝申し上げます。大会開催に当たりましては、企画運営に関し、金光八尾中学・高等学校 本荘忠彦校長先生はじめ顧問の先生や生徒さんに御尽力頂き特に感謝申し上げます。また、スポンサーの八尾 R C 今川憲治会長をはじめメンバーの皆様にも心から御礼申し上げます。

インターアクトは、国際理解と地域貢献を主眼に活動しており、本年は 8 月 6 日から 10 日 3 泊 5 日 タイのバンコクで研修、国際理解を推進致しました。今日は、地域に帰って活動します。地域と国際という事は別のことではなくて、大きな関わりがあると思います。それは、地域が世界の一部であり、インターネットの普及によって、地域と世界の距離はますます近くなってきている事。また、地域と世界は、学術・技術・芸術といった国境を越えて理解できる文化や、地球という自然の中で生かされているという、普遍的な価値で繋がっているという事です。

本日は、私の大好きな、大阪生まれの司馬遼太郎さんの「21 世紀に生きる君たちへ」の一節を紹介して御挨拶に代えたいと思います。

昔も今も、また未来においても変わらないことがある。そこに空気と水、それに土などという自然があって、人間や他の動植物、さらには微生物にいたるまでが、それに依存しつつ生きているということである。

自然こそ不変の価値なのである。なぜならば、人間は空気を吸うことなく生きることができないし、水分をとることがなければ、かわいて死んでしまう。

「人間は自分で生きているのではなく、大きな存在によって生かされている。」と、中世の人々は、ヨーロッパにおいても東洋においても、そのようにへりくだって考えていた。

この自然へのすなおな態度こそ、21 世紀への希望であり、君たちへの期待でもある。そういうすなおさを君たちが持ち、その気分をひろめてほしいのである。

そうなれば、21 世紀の人間は、よりいっそう自然を尊敬することになるだろう。そして、自然の一部である人間どうしについても、前世紀にもまして尊敬し合うようになるのにちがいない。そのようになることが、君たちへの私の期待でもある。

以上です。今日もインターアクターらしく一日元気ががんばりましょう。

校長挨拶

金光八尾中学校・高等学校校長 本荘 忠彦

第2660地区のインターアクトクラブの皆さん、又、顧問の先生そして、ロータリアンの皆様方、ようこそ、本校にお越し下さいました。心から歓迎申し上げます。

皆さん方の学校におかれましては、国際交流をテーマに、海外のインターアクターとの交流を行い、一方では、奉仕活動をテーマに地域の清掃活動や募金活動、さらに、献血活動など社会に役立つ活動に取り組んでおられることだと思います。

本校においても、社会奉仕と国際理解を目的に活動を始めて、早や21年経ちました。

その間、八尾ロータリークラブを始め、各ロータリークラブの皆さん方には、何かと、ご支援とご協力を頂き今日に至っておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、今回、本校がお世話させていただく年次大会の中味として、早い段階から、クラブ員同士が話し合った結果、「環境問題」を取り上げました。

昨今、環境問題といえますと、地球温暖化や異常豪雨など、世界規模の問題として取り上げられています。

この大きな問題を一高校生が、取り組んでもその課題を解決するには、大きすぎる問題でもあります。

そこで、「出来ることから始めよう」ということで、本校の前を流れる玉串川、この川沿いの桜並木は春は見事なものですが、この玉串川のことに「一人でも多く、関心・興味を持ってもらおう」、そして「いつまでもよい自然が残るような環境を作っていこう」、そう言う思いで、本日まで、地道な取り組みをして参りました。

本日は、その成果の一端を見ていただくと同時に、こういった環境問題に取り組む気持ちを少しでも持っていただけたらと思っております。

今日一日、十分なお世話は出来かねますが、この金光八尾高校で思い出に残るような時間を過ごしていただければと期待いたしまして、歓迎のことばいたします。

年次大会を終えて

金光八尾高校 藤井 智也

去る9月28日、高校3年生の自分にとって最後となる、第2660地区インターアクトクラブの年次大会が開催されました。しかも、今回は本校が幹事校ということで大変感慨深いものとなりました。まず、前日から様々な準備があり、一つの行事を進めていくのに、こんないろいろなことにまで気をつかわなければいけないのかと、改めて幹事校の大変さを実感しました。まず、水槽の設置やレイアウト、タイから送られてきた絵の展示、会場のイス並べ、名札の作成作業など大変でしたが、これらの作業を地道にこなすことも一つ勉強になったと思います。また、大会当日は僕自身に開会宣言と地区旗の引き継ぎという大役が当たっていたので前日から大変緊張しました。両方とも式典のなかでは、なくてはならないセレモニーなので、緊張しながらも上手くこなせたことは良かったと思います。

講演では、美濃原先生の水についての話しを大変興味深く聴けたと思います。私たちが生活している大阪の水が「おいしい」といわれるようになるためには、我々一人一人が関心を持たなければならないと改めて思いました。そういえば私の家の近くを流れる大和川も昔は汚かったのですが、今は少しづつきれいになってきたと思っていました。これも大和川流域で生活する人々が少しづつでも意識し始め、環境を良くする活動に取り組んできた結果だと改めて気づきました。

午後の取り組みの一つである、川底の清掃は驚きの連続でした。いくらでも出てくる空き缶や錆びた鉄の塊など、一見きれいに見える玉串川でも、こんな多くのゴミが出てくるとは。心ない人たちがまだいることを実感しました。

我々になくてはならない水について、この年次大会を通じてたくさん考えさせられました。人は水なしに生きてはいけません。このことを実感した一日だったと思います。これからは水はもちろんのこと、環境全般について、考えていきたいと思います。



年次大会を終えて

金光ハ尾インターアクトクラブ顧問 金崎 桂悟

4年前、本校の前を流れる玉串川の清掃活動をしている時、川の流れが緩くなった所で数匹の小さい魚が泳いでいるのを発見しました。後日、ビンのなかにエサを入れて水中につけてみるとその魚達が入ってきました。小さな小さな魚でした。それを凶鑑などで調べてみるとメダカだとわかりました。さらに詳しく調べると、現在日本国内ではメダカは減少し（メダカが生き残れる環境が激減）絶滅が危惧されている魚だということもわかりました。この時、本校が幹事校を務める2008年の年次大会のテーマが決まりました。メダカを増やそう、メダカの住める環境を作ろうというものでした。

しかし、取り組みを進めていくうちに様々なことがわかってきました。特にメダカの人工的繁殖は近親間の交配によって遺伝子の劣性を引き起こし、そのようなメダカを自然界に放流したところで、決して個体数の増加にはつながらないということを知った時、この取り組みを根底から覆すもので、大変衝撃を受けました。そこで方向を少し転換し、身近な環境に生息する魚達を展示し、一人でも多くの人たちに魚に興味を、そしてそれを通じて川に、水に関心を持ってもらおうと考えました。ですから9月28日の年次大会を迎えるまでは部員だけでなく顧問も一緒になって魚の捕獲に精を出しました。時には近所の方からこんな用水路で何をしているのかと不思議な目で見られましたが、何とかこの玉串川に住む約20種類ほどの魚達を全部採取したい、そういう思いで頑張ってきました。その結果コイやフナだけでなく、ギギやヨシノボリといった聞き慣れない珍しい魚を捕獲することができましたし、捕獲が難しいモクズガニを捕まえることができ、部員一同満足できる展示ができたと思います。

年次大会当日は川の清掃と展示した魚達の放流をメインに企画を組みました。普段履いたことがないような腰までの長靴を履いて川に入ることは相当大変な作業だろうと思われましたが、インターアクター達が率先して行動し、川底のゴミを想像以上に拾ってくれたことには驚きました。また、魚の放流にも予想以上に興味をもって取り組んでくれたことは、企画した者としてはうれしい限りでした。

今回の年次大会を振り返ると、みんなと一緒に活動できた時間が短くなってしまい、全てのインターアクター達が満足できるような活動にはならなかったと思います。しかし、水質調査や川に入ったことで、普段は何気なく接している水に対して、少しでも意識を持つきっかけになってくれたのではと思います。そして、このように一人でも多くの人々に魚を通して川そのものに関心を持ってもらい、この魚達が安心して生息できる環境作りを進めていくこと。それが私たちインターアクトクラブのできることだと思います。

本当にありがとうございました。





水の流れを追って

～玉串川とコップ1杯の水から見て～

アクアフレンズ 美濃原弥恵

アクアフレンズの紹介

アクアフレンズは1996年に発足した環境啓発団体です。

メンバーの多くは八尾市生活排水アドバイザー（生活排水対策指導員）の経験者で、将来子ども達が水と触れ合える理想的な水辺環境づくりを目指して様々な啓発活動をしています。

水質汚濁防止法の改定について

●1990年 特に注目する改定内容

（国及び地方公共団体の責務）

- ・生活排水対策について・・・排水処理施設の整備と指導員の育成

（国民の責務）

- ・何人も、公共用水域の水質の保全を図るため、調理くず、廃食用油等の処理、洗剤の使用等を適正に行うよう心がけるとともに、国又は地方公共団体による生活排水対策の実施に協力しなければならない。

（都道府県知事による指定）

- ・生活排水対策重点地域の指定

水の流れを追って・・・その1（玉串川）

●玉串川の役割と水源

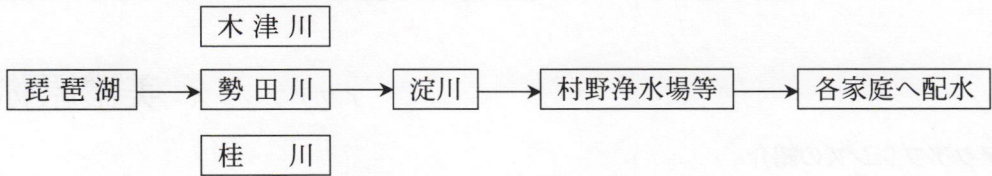
- ・長瀬川と共に中河内地域を流れる主要な農業用幹線水路
- ・田畑を潤した後、生活排水対策重点地域の指定を受ける対象となった恩智川など一級河川が落ち口（排水先）となっています。
- ・中河内地域の用水の殆どは大和川が水源です。大和川の水を1番多く利用しているのは大和川の付け替え工事前も今も中河内地域です。

●大和川から大阪湾へ

- ・大和川から取水して流れる中河内の川や水路は第二寝屋川に合流し、京橋口を通過して大川（旧淀川）へ合流、大阪湾へと出てゆきます。
- ・大和川には南河内を流れる石川、更に西を流れる東除川、西除川が合流し堺市を通過して大阪湾へと出てゆきます。

水の流れを追って・・・その2 (コップ1杯の水)

●水道水の水源をたどる



●水道水の水質検査項目から見える私達の生活

- ・水質基準項目 (51 項目)
- ・水質管理目標設定項目 (27 項目)

●蛇口から出た水の行方

- ・浄水は蛇口からでたその瞬間から排水となります。
- ・コップの水も私達の体を通り下水道を通過して下水処理場へ運ばれます。
- ・下水処理された水は川へ放水されます。

●水質浄化の進む大和川

●農業用水路の多面的利用

●その他

- ・北タイの水環境と環境学習

水質検査・玉串川観察会アンケート

水質検査・観察会に参加して思ったことに○をしてください。

① 水質検査・玉串川観察会に参加して川や水路などへの関心は今までと変わりましたか？

- ・ とても関心を持つようになった。
- ・ 少し関心を持つようになった。
- ・ とくに気持は変わらなかった。

② 水源や水の流れについての関心は？

- ・ とても関心を持つようになった。
- ・ 少し関心を持つようになった。
- ・ とくに気持は変わらなかった。

③ 水路の多面的利用について今までに知っていましたか？

- ・ 知っていた
- ・ 知らなかった

④ 都市の中の水路の役割についてどう思いましたか？

- ・ (多面的な利用を含めて) 大切な空間として残したい
- ・ 農地の減少と共に少なくなるのは仕方がない
- ・ 分からない

⑤ 今後も観察会などがあれば参加したいと思いますか？

- ・ 思う
- ・ 思わない
- ・ 分からない

★感想

ご記入ありがとうございました
アクアフレンズ

2008-2009 年度

国際ロータリー第2660地区インタラクティブ年次大会

●参加者名簿

国際ロータリー第2660地区ガバナー	横山 守雄
地区新世代合同委員長会議議長パストガバナー	井上 暎夫
国際ロータリー第2660地区IAC委員長	上野 昌也

大阪南RC	横尾 国治
大阪南RC	廣内 謙

大東RC	田中 祥介
大東RC	田中 啓之
大東RC	田川 和見

八尾RC	会長	今川 憲治
八尾RC		稲田 明人
八尾RC		山本 昌市
八尾RC		植 健次
八尾RC		奥谷 英一
八尾RC		野田 重夫
八尾RC	地区IA担当	稲田 賢二
八尾RC		森川 勝
八尾RC		横井 憲二
八尾RC		津田 伸一
八尾RC		田中 康正
八尾RC		川田 隆

大阪住吉RC	大戸 道彦
--------	-------

大阪RC	クラブIAC委員長	村岡 一郎
大阪RC	クラブIAC委員長	北村 寛治

大阪阪南RC	幹事	近藤 大三
大阪阪南RC	会長	和田 健
大阪阪南RC	地区IA委員	谷野 清孝
大阪阪南RC		中山 実
大阪阪南RC		乃口 忠勝
大阪阪南RC		野間 吾郎
大阪阪南RC		高木 正夫

国際ロータリー第2660地区ガバナー事務職員	栗正 久美
------------------------	-------

清風学園 (顧問3名・中学2名・高校7名)			
清風学園 IAC	顧問	門田三生夫	
清風学園 IAC	顧問	中村 明夫	
清風学園 IAC	顧問	高橋 達矢	
清風学園 IAC	高3	山田 泰士	A
清風学園 IAC	高3	峠口 侑哉	B
清風学園 IAC	高2	野原 祥佑	C
清風学園 IAC	高2	浦野 貴至	D
清風学園 IAC	高2	大櫛 統丈	E
清風学園 IAC	高2	中村 亮太	F
清風学園 IAC	高2	古川 和伸	G
清風学園 IAC	中3	安達 佑	H
清風学園 IAC	中3	高橋 直熙	I

大阪桐蔭中学高校 (顧問2名・中学7名・高校7名)			
大阪桐蔭中学高校 IAC	顧問	仲谷 浩一	
大阪桐蔭中学高校 IAC	顧問	亀井 貴洋	
大阪桐蔭中学高校 IAC	高2	植村 美紀	J
大阪桐蔭中学高校 IAC	高2	下川絵里奈	K ★
大阪桐蔭中学高校 IAC	高2	中川 竹美	L ★
大阪桐蔭中学高校 IAC	高2	東野 勇介	A
大阪桐蔭中学高校 IAC	高1	祭礼田広海	B
大阪桐蔭中学高校 IAC	高1	野村 麻美	C ★
大阪桐蔭中学高校 IAC	高1	中西 彩	D ★
大阪桐蔭中学高校 IAC	中3	原田 崇史	E
大阪桐蔭中学高校 IAC	中2	小野 陽子	F
大阪桐蔭中学高校 IAC	中2	佐藤 絵美	G
大阪桐蔭中学高校 IAC	中2	山本 有香	H
大阪桐蔭中学高校 IAC	中2	玉井志保里	I
大阪桐蔭中学高校 IAC	中2	石橋 侑佳	J
大阪桐蔭中学高校 IAC	中2	森田 晴子	K

金光八尾中学高校 (顧問5名・中学2名・高校10名)			
金光八尾中学高校 IAC	校長	本荘 忠彦	
金光八尾中学高校 IAC	顧問	金崎 桂悟	
金光八尾中学高校 IAC	顧問	片島 哲哉	
金光八尾中学高校 IAC	顧問	藤田 匡輔	
金光八尾中学高校 IAC	顧問	前田 裕子	
金光八尾中学高校 IAC	顧問	和田名保子	
金光八尾中学高校 IAC	高3	藤井 智也	
金光八尾中学高校 IAC	高3	野島 由紀	
金光八尾中学高校 IAC	高3	大野あずさ	
金光八尾中学高校 IAC	高2	宮川 直也	
金光八尾中学高校 IAC	高2	山川紗優理	
金光八尾中学高校 IAC	高1	中尾信之介	
金光八尾中学高校 IAC	高1	高山 勝	
金光八尾中学高校 IAC	高1	岩本 彩	
金光八尾中学高校 IAC	高1	大平 梨絵	
金光八尾中学高校 IAC	高1	下岡 美香	
金光八尾中学高校 IAC	中2	金泥 弘樹	
金光八尾中学高校 IAC	中2	井村 隆太	

浪速中学高校 (顧問1名・中学2名・高校2名)			
浪速中学高校 IAC	顧問	大塚真紀子	
浪速中学高校 IAC	高1	藤田 築	L ★
浪速中学高校 IAC	高1	山中 裕介	A ★
浪速中学高校 IAC	中2	菅 唯菜	B ★
浪速中学高校 IAC	中2	兼田 祥子	C ★

相愛中学高校 (顧問2名・中学3名・高校11名)			
相愛中学高校 IAC	顧問	川西 清史	
相愛中学高校 IAC	顧問	河野 定幸	
相愛中学高校 IAC	高3	竹村 明子	D ★
相愛中学高校 IAC	高3	森安千友勢	E
相愛中学高校 IAC	高3	北岸有梨沙	F
相愛中学高校 IAC	高3	佐々木真理	G
相愛中学高校 IAC	高3	新庄 昭	H ★
相愛中学高校 IAC	高3	桑原 里枝	I
相愛中学高校 IAC	高3	高橋 沙里	J ★
相愛中学高校 IAC	高1	山元 郁香	K
相愛中学高校 IAC	高1	桑原 沙英	L
相愛中学高校 IAC	高1	松本 麻里	A
相愛中学高校 IAC	高1	澤田 茜	B
相愛中学高校 IAC	中3	出田 渚	C
相愛中学高校 IAC	中3	小西 裕子	D
相愛中学高校 IAC	中3	高島真依子	E

四天王寺中学高校 (顧問2名・中学4名・高校14名)			
四天王寺中学高校 IAC	顧問	岡 宏治	
四天王寺中学高校 IAC	顧問	松本 真奈	
四天王寺中学高校 IAC	高2	乃木愛里子	F ★
四天王寺中学高校 IAC	高2	藤田 有可	G
四天王寺中学高校 IAC	高2	小林 美野	H ★
四天王寺中学高校 IAC	高2	豊國 恵麻	I
四天王寺中学高校 IAC	高2	横井 友紀	J
四天王寺中学高校 IAC	高2	小林奈都子	K
四天王寺中学高校 IAC	高2	山中 唯	L
四天王寺中学高校 IAC	高2	小林まりや	A ★
四天王寺中学高校 IAC	高2	武田 麻希	B ★
四天王寺中学高校 IAC	高2	森 仁美	C
四天王寺中学高校 IAC	高2	石井 沙季	D
四天王寺中学高校 IAC	高2	東 優希	E
四天王寺中学高校 IAC	高2	堀 智美	F
四天王寺中学高校 IAC	高1	栗原 律子	G
四天王寺中学高校 IAC	中3	福井 晴那	H
四天王寺中学高校 IAC	中3	小西みのり	I
四天王寺中学高校 IAC	中3	岩永 珠季	J
四天王寺中学高校 IAC	中3	増田 礼子	K

各インターアクトクラブ活動報告

清風学園インターアクトクラブ

清風学園インターアクトクラブは1975年にE S Sを母体として設立され、OBは250名に達しようとしています。現在は中学生2名、高校生10名の計12名で活動しています。

部員の所属クラスによって放課後の時間がまちまちなため、全員がそろうことは少なくりましたが、週に一回、例会を開いて、主に英会話の練習に取り組んでいます。

4月に学内のクラブ紹介を皮切りに部員募集が始まり、今年は高校生5名の新規加入がありました。6月の新人歓迎会には高校生5名が参加させていただき、初めて他校のインターアクターとの交流を経験しました。

8月の海外研修には高校生5名が参加。雨で少し予定が狂ったものの、現地インターアクターと交流。どの生徒も国際交流は初めてで、よい経験ができ、一回り成長して帰ってきたように思います。

9月には文化祭で模擬店出店と平行して盲導犬育成の募金活動を行い、募金と模擬店売り上げの7万円を、盲導犬協会、アジアへ井戸を、ユニセフの3団体に寄付しました。

また、2年生部員から希望者が2名、ガン患者を支援する24時間行事『リレー・フォー・ライフ2008 芦屋』に参加し、徹夜で頑張りました。

また、今年も11月に『トイレ掃除ボランティア』に参加します。すこしずつ年間を通しての活動が見えてきたところです。

これからもロータリーの皆さんに指導を仰ぎ、インターアクターの皆さんと協力し合いながら、国際交流と地域奉仕の経験を深めていきたいと思っています。



大阪桐蔭中学・高等学校インターアクトクラブ

大阪桐蔭中学校・高等学校インターアクトクラブは1983年秋に、大東ロータリークラブ提唱で発足しました。部員は中学生7名、高校生11名の合計18名です。

四川地震、ミャンマーサイクロンの募金

募金活動では地震の被害にあった中国の四川とサイクロンの被害にあったミャンマーに送るお金を集めました。募金箱を作り、約1ヶ月間職員室に設置し、募金の呼びかけを行いました。どれだけお金が集まるのかと、期待と不安を抱きながら箱を開ける日を待ちました。そして1ヶ月後、箱を開けるとそこにはたくさんの小銭と数枚の千円札が入っていました。期待に胸をふくらませ、数えてみるとなんと、32,515円も集まっていました。これは本当に学校のみんなの協力があってこそだと思います。

このたくさんの人の善意が中国・ミャンマーで役に立ってくれることを思うと、うれしさでいっぱいでした。

清掃活動を通じて

私たち、インターアクト部員は、毎月日を決めて朝早くが学校へ行き、学校周辺の清掃活動を行っています。

毎日みる中で、たばこの吸い殻や空き缶をよく目にしていたので、そういうものばかりであろうと思っていました。しかし、実際に足を止めてみると、ビニール袋やガムお包み紙から始まり、自転車のサドルや壊れた傘など様々なものが捨ててありました。

自分たちのものではないゴミを拾うことは忍耐緑力がいらいます。でも、きれいになった道で、みんなが喜ぶ笑顔がみるのが楽しいので、清掃活動を続けることができます。これからも、この活動を大切につづけていこうと思います。

鶴見緑地エコハイク

私たち大阪桐蔭中学校高等学校インターアクトクラブは、2008年3月、鶴見緑地へ行きました。そこで咲くやこの花館を見学したあと、鶴見緑地公園内の清掃活動を行いました。咲くやこの花館では、たくさんの種類の花があり、はじめて見る花もありとてもきれいでした。

清掃では、普段なにげに歩いていると、気づかないけれども、意外にゴミがたくさんありました。少しでもゴミを減らすことができるように、お手伝いができてすがすがしい気持ちになりました。

また、鶴見緑地公園内にある地球館を訪問しました。そこでは、地球温暖化などの環境問題を中心に、さまざまな地球環境問題について学ぶことができました。

クリーンハイク

年に1度、飯森山にクリーンハイキングに出かけています。主な活動内容は登山をしながら落ちていたゴミを拾い山頂を目指します。山頂では、飯ごう炊さんを行い部員同士の交流もはかります。

登山開始とともに、タバコの吸い殻、ペットボトルなどのゴミの多さに驚きました。せっかく、山に登っているのに、全員が気持ちよく登山できるように自分たちの活動が地域社会に貢献できるとやはりうれしく思います。山頂では、飯ごう炊さんを行って部員間の交流も深めることができ充実した一日を過ごすことができました。

書き損じはがきについて

毎年1月には、書き損じはがきの回収に取り組んでいます。回収箱を職員室内に設置し、全校生徒に呼びかけ、理解と協力をお願いしています。回収したはがきは、大阪府視聴覚障害福祉協会に送り、収益金を盲導犬の育成資金などに充てていただいています。



浪速中学・高等学校インターアクトクラブ

浪速中学高校インターアクトクラブは現在中学生2名高校生4名の計6名で活動しています。

普段の活動は、異文化理解を目的としたネイティブの先生による英会話のレッスンを週2回、また校内花壇の手入れを行っています。

また、毎年文化祭では災害募金活動を行い、去年の冬には大阪住吉ロータリークラブの方々と共同で大泉緑地の清掃、堺再生の森の雑草刈りなどを行いました。

去年は住吉大社の清掃も予定しておりましたが、残念ながら雨で中止となりました。その代わりに住吉大社の歴史のお話を聞かせていただくことができ、またロータリーの方々とインターアクトとの交流もできました。

部員数は少ないですが、次年度以降は、さらに多くの地域奉仕活動を行っていく予定です。



四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブ

私たち、四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブは、1983年に大阪阪南ロータリークラブ提唱の下に結成されました。現在中学生13名、高校生24名合わせて37名で活動しています。週1回の例会、週2回の校外清掃が主な活動です。毎年7月に行われる大阪阪南ロータリークラブとの交流会では、ボーリングを一緒に楽しむことが恒例になっています。

また、今年はニューリーンロータリークラブとの青少年交流が行われ、ニュージーランドから来られた大学生に大阪市内を案内しました。

本年度の2660地区の新入生歓迎会では、本校が幹事校となり、信貴山のどか村でそば打ち体験や吹き戻しを使ったゲームをしながら、他校のインターアクトたちとの親睦を深めました。8月6日から10日まで海外研修参加させていただき、タイのインターアクトと楽しい時間を過ごすことができました。思い出に残る海外研修でした。

10月には、上六近鉄駅前や、四天王寺境内で赤い羽根の街頭共同募金にも参加します。3月には卒業生の送別会を行っています。私たちは、人の役に立てるように、これからも精一杯活動して行くつもりですので、どうぞよろしくお願いいたします。



金光八尾中学・高等学校インターアクトクラブ

金光八尾インターアクトクラブは 現在 11 名の部員で活動しています。まず今年度の最初の活動は 2660 地区の新入生歓迎会でした。今年は中学生 2 名、高校 1 年生 4 名が参加しました。当日は炎天下の中のハイキングで激しく体力を消耗しましたが、同じ苦しみを味わったことで、他の学校のインターとうち解けることができました。新入生にとってみても、まずインターアクトクラブの雰囲気にも慣れるよい機会だったと思います。

次の活動は 7 月の猛暑の中行われる夏期奉仕活動です。これは金光八尾のインターアクトクラブが設立されてから 20 年間続けてきた活動で、本校の前を流れる玉串川や近隣の公園の清掃を行うもので、インターアクト部員は活動の企画と道具の管理・そして当日の監督を行います。今年は特に記録的な猛暑で、1 時間程度の作業でも汗で全身がビショ濡れになるほどでしたが、作業が終了したあと川がきれいになっているのを見ると充実感を覚えました。

そして今年はこちらに加え、文化祭や年次大会のために玉串川の魚をとる作業を現在しています。玉串川は小さいながらも約 30 種類にも及ぶ魚やカニなどが生息している清流です。ここに生息している生物を一人でも多くの方に知ってもらい、そして水を取り巻く環境に興味を持ってもらおうと展示をするのが目的です。取り方は簡単な仕掛けを沈めておき、時間をおいてあげるといものですが、上げる瞬間は童心に返ったような気持ちになりワクワクします。

そして、9 月 19 日に行われた文化祭では、私たち金光インターアクトクラブのテーマである玉串川の環境に興味を持ってもらおうと、玉串川で捕獲した魚やカニなどを水槽で展示し、クイズなどで楽しんでもらいます。例年 100 人以上の見学者が来場し、大盛況になります。特に玉串川に住んでいる魚のほとんどを展示した大水槽は人だかりができる程です。今後も、このような玉串川に関する活動を通じて環境問題を考える、そんな活動を続けていきたいと思っています。

以上が金光八尾インターアクトの活動報告です。



相愛中・高等学校インターアクトクラブ

相愛インターアクトクラブは、6年前に大阪ロータリークラブの提唱により設立され、中学高校生徒会執行部12名を中心とする19名で活動を行っています。主な活動は、週に1度の例会と「街美化」という学校周辺の清掃活動を行っています。昨年、大阪市では「路上喫煙禁止に関する条例」が制定され、御堂筋などでの喫煙が禁止になりました。しかし、横道に入ると未だに多くの吸い殻が見られます。

私たちは、皆が気持ちよと感じられる街になればと願い、清掃活動を行っています。また、入学式前と文化祭前に学内の花壇の植え替えを行い、明るい学校作りを努めています。

今年度は、2月には、南海なんば駅前にて献血キャンペーンに参加し、2660地区のロータリアンの方々とともに、多くの方に献血への協力の呼びかけを行いました。6月の新入生歓迎会は、学校行事と重なったため参加できませんでしたが、8月の海外研修には幹事校として7名参加させていただき、同地区やタイのインターアクターとの交流を行いました。また9月には、大阪ロータリークラブの例会に参加させて頂き、海外研修の報告を行うとともに、ローターアクトの方との交流を行うこともできました。

また昨年から行っている活動として、今年度もセーブ・ザ・チルドレンの活動を行っている方に例会に参加していただき、活動内容を伺いました。写真を見て、話を聞き、「貧困」というものの実態を知り、私たちに何ができるか、ということ強く感じさせられました。

以上、活動報告とさせていただきます。



2008～2009
R12660 地区
インターアクトクラブ名簿

2008-2009年度 Ri2660 地区インターアクトクラブ名簿

【地区インターアクト委員会】

役 職	氏 名	所属クラブ名
地 区 委 員 長	上 野 昌 也	大 阪 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
地 区 副 委 員 長	大 戸 道 彦	大 阪 住 吉 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
地 区 副 委 員 長	田 中 康 正	八 尾 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
地 区 委 員	松 岡 一 郎	大 阪 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
地 区 委 員	廣 内 謙	大 阪 南 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
地 区 委 員	田 中 啓 之	大 東 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ
地 区 委 員	谷 野 清 孝	大 阪 阪 南 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

【各インターアクトクラブ例会・日時・会場】

クラブ	例会日	例会時間	例会場所
清 風 学 園	土	2:00	教 室
大阪桐蔭中学・高等学校	金	5:30	教 室
浪速中学・高等学校	第1・3月	3:45	地 学 教 室
四天王寺中学・高等学校	金	1:00	多 目 的 教 室
金光八尾中学・高等学校	第1土	1:00	第 2 学 習 室
相愛中学・高等学校	水	放課後	生 徒 会 室

【清風学園インターアクトクラブ】

ADDRESS : 〒543-0031 大阪府大阪市天王寺区石ヶ辻町 12-16

PHONE : 06-6771-5757 FAX 06-6772-3882

SPONSORCLUB : 大阪南ロータリークラブ

ADDRESS : 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波 5-1-60 スイスホテル南海 15 階 1503 号室

PHONE : 06-6646-5228 FAX 06-6646-5289

FOUNDED : 1975 年 7 月 22 日

大阪南ロータリークラブ インターアクト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
廣内 謙	委員長	早石 誠	委員長	角谷 英樹	委員
村上 恭豊	副委員長	平田 雅利	委員	若原 康正	委員

清風学園インターアクトクラブ

《顧問》 門田三生夫・中村 明夫・高橋 達矢

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
野原 祥佑	会長	高2	中村 亮太	幹事	高2	高橋 直熙		中3
大櫛 統丈	副会長	高2	古川 和伸	副幹事	高2			
浦野 貴至	書記	高2	安達 佑		中3			

【大阪桐蔭中学・高等学校インターアクトクラブ】

ADDRESS : 〒574-0013 大阪府大東市中垣内 3-1-3

PHONE : 072-870-1001 FAX 072-875-3330

SPONSORCLUB : 大東ロータリークラブ

ADDRESS : 〒574-0046 大阪府大東市赤井 1-2-12 ポップタウン別館内

PHONE : 072-875-1200 FAX 072-875-0590

FOUNDED : 1976年6月8日

大東ロータリークラブ インターアクト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
田中 啓之	委員長	森山 信一	委員		
田川 和見	副委員長	植田 恭平	委員		

大阪桐蔭中学・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》 亀井 貴洋・仲谷 浩一

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
森貞 翔太	会長	高2	蚊島 ゆり		高1	佐張 艦美		中2
植村 美紀	副会長	高2	戸日秀一朗		高1	山本 有香		中2
下川 艦里奈	副会長	高2	野村 席美		高1	玉井志保里		中2
中川 竹美	幹事	高2	中西 彩		高1	蘇日 晴子		中2
東野 勇介	幹事	高2	原田 崇史		中3	石橋 侑佳		中2
遠藤有梨沙		高1	小野 隔子		中2			

【浪速中学・高等学校インターアクトクラブ】

ADDRESS : 〒558-0023 大阪府大阪市住吉区山之内 2-13-57

PHONE : 06-6693-4031 FAX 06-6693-6511

SPONSORCLUB : 大阪住吉ロータリークラブ

ADDRESS : 〒545-0052 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 近鉄百貨店内

PHONE : 06-6624-1111 FAX 06-6621-8885

FOUNDED : 1982年4月1日

大阪住吉ロータリークラブ インターアクト委員

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
越野 保夫	委員長	渡部富士雄	副委員長		

浪速中学・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》大塚真紀子・木村 智子

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
山中 祐介	会長		木下 晴香	書記		兼田 翔子	中学部員	
藤田 築	副会長		菅唯 菜	中学部員				

【四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブ】

ADDRESS : 〒543-0051 大阪府大阪市天王寺区四天王寺 1-11-73

PHONE : 06-6772-6201 FAX 06-6773-4113

SPONSORCLUB : 大阪阪南ロータリークラブ

ADDRESS : 〒543-0055 大阪府大阪市天王寺区悲田院町 8-11 新和興産ビル 302 号

PHONE : 06-6772-5816 FAX 06-6779-7956

FOUNDED : 1983 年 3 月 17 日

大阪阪南ロータリークラブ インターアクト委員

氏名	役職
谷野 清孝	奉仕プロジェクト委員会委員長兼社会奉仕委員会委員長

四天王寺中学・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》松本 真奈・白崎 貢・野口 弘 ・岡 宏治

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
湊野 友未	会長	高3	小林まりや		高2	増田 礼子		中3
田中 真弓	幹事	高3	武田 麻希		高2	山路 彩夏		中3
森川 莉江		高3	乃木愛里子		高2	飯田 有		中2
堀内 春那		高3	前川 洋子		高2	柳川 咲		中2
谷村 桃		高3	横井 友紀		高2	沖津明日香		中2
坂本 慧		高3	石井 沙季		高2	大谷 まり		中2
小林 美野		高2	豊國 恵麻		高2	朝比奈朋美		中2
藤田 有可		高2	堀 智美		高2	平野 真帆		中2
山中 唯	会計	高2	池 有美		高1	池 里美		中2
片岡 千枝		高2	栗原 律子		高1	吉田 旭代		中2
村上 愛美		高2	潮田 誠美		中3	山田 華		中2
森 仁美		高2	福井 晴那		中3	水本 千幸		中2
小林奈都子		高2	岩永 珠季		中3	西澤明日香		中1
東 優希		高2	小西みのり		中3	山田奈津実		中1

【金光八尾中学・高等学校インターアクトクラブ】

ADDRESS : 〒581-0022 大阪府八尾市柏村町 1-63

PHONE : 0729-22-9162 FAX 0729-22-4496

SPONSORCLUB : 八尾ロータリークラブ

ADDRESS : 〒581-0003 大阪府八尾市本町 2-2-8 八尾市商工会議所 2階 202 号室

PHONE : 0729-91-2129 FAX 0729-24-0010

FOUNDED : 1987 年 7 月 29 日

八尾ロータリークラブ インターアクト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
稲田 賢二	委員長	田中 康正	委員	大坪 勤	委員
植 健次	委員	中島 孝夫	委員	津田 伸一	委員
山本 昌市	委員	中川 将	委員	加藤 隆	委員

金光八尾中学・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》金崎 桂悟・片島 哲哉・藤田 洋輔・前田 裕子・和田 名保子

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
藤井 智也	会長	高3	山川紗優理		高2	下岡 美香		高1
新井 麻奈		高3	中尾信之介		高1	井村 隆太		中2
大野あずさ		高3	高山 勝		高1	金泥 弘樹		中2
野島 由紀		高3	岩本 彩		高1			
宮川 直也		高2	大平 梨絵		高1			

【相愛中学・高等学校インターアクトクラブ】

ADDRESS : 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 4-1-23

PHONE : 06-6262-0621 FAX 06-6262-0534

SPONSORCLUB : 大阪ロータリークラブ

ADDRESS : 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 5-3-68 リーガロイヤルホテル 418 号室

PHONE : 06-6448-1121

FOUNDED : 2003 年 9 月 3 日

大阪ロータリークラブ インターアクト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
松岡 一郎	委員長	石原 福造	委員	笹倉 敏彦	委員
奥田 吾朗	副委員長	石原 昌二	委員	下村 嘉一	委員
上野 昌也	副委員長	北村 寛治	委員	山本 良一	委員
山本 一樹	副委員長		委員	矢澤 英実	委員
廣瀬 太一	委員	百山 敬祥	委員	湯木 潤治	委員

相愛中学・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》川西 清史・河野 定幸

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
竹村 明子	会長	高3	北野美津子		高3	平 弥生		中3
桑原 里枝	副会長	高3	北村 菜摘		高3	小西 裕子		中3
森安千友勢	副会長	高3	西成 彩夏		高2	佐田 萌子		中3
新庄 昭		高3	桑原 沙英		高1	出田 渚		中3
高橋 沙里		高3	松本 麻里		高1	高島真依子		中3
北岸有梨沙		高3	山元 郁香		高1			
佐々木真理		高3	楠本 恵子		高1			

編集後記

本年度、顧問として参加させていただいたインターアクトクラブ諸活動の感想を述べさせていただきます。海外研修に顧問として参加させていただくのは本年度のタイへの海外研修で3度目になりますが、例年以上にインターアクター同士の交流の時間が多かったように思われます。4泊5日の滞在の中で、3日間の交流があり、3度目に両国の学生が顔を合わせる時にはお互いの名前を呼び合って手を振っている姿が見受けられました。また、今回の研修旅行ではタイの日本人学校である「如水館バンコク」の学生との交流もあり、海外で暮らす日本人学生の学校生活を知ることができました。インターアクターはこの5日間の個人の旅行では決して味わえないできない貴重な経験ができたのではないのでしょうか。

インターアクトクラブの顧問をさせていただいて、毎年感じることは、海外研修に参加させていただいた本校のインターアクターに変化が見られるということです。中学生・高校生は普段は学校という狭い世界の中で生活していますが、海外研修で、普段関わることがない他校のインターアクターと3～4日行動を共にし、少し成長して帰ってくるのです。インターアクトクラブの大きな目標は国際理解と奉仕ですが、日本人同士の輪を広げることができるのもこのクラブのすばらしい点の1つだと思います。年次大会も毎年趣向を凝らした内容で行われ、生徒にとっても顧問にとっても知的好奇心をくすぐる行事であると思います。

最後になりましたが、このような貴重な体験の場を提供してくださるロータリークラブの皆様へ深く感謝いたします。また、このSCRUM編集にあたりご協力いただいた、ロータリークラブの先生方、各校顧問の先生方に御礼申し上げます。

浪速中学・高等学校
インターアクトクラブ
顧問 大塚 真紀子
木村 智子

発行 R.I第2660地区インターアクト委員会
担当校 浪速中学高等学校インターアクトクラブ
編集者 上野昌也（地区委員長）
発行日 2009年1月31日
印刷 アルプス印刷株式会社



